

第4回 帛の郷運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任

令和 2 年 11 月 18 日 (水)	司会	記録
午前 午後 10 時 00 分 ~ 10 時 40 分 まで	小野	小野

<p>【出席者】</p> <p>樋口玲子、大野廣榮、小倉百合子</p> <p>原要助、有本秀雄、高齢福祉課・本宮翔、</p> <p>矢部園長、山田次長、小野</p> <p style="text-align: right;">計 9 人</p>	<p>【欠席者】</p> <p>斎藤正隆、岩村一千八</p> <p>大橋昇、鈴木辰衛</p> <p style="text-align: right;">計 4 人</p>
--	--

議題	協議内容・結果
1. 園長挨拶	○矢部園長より挨拶。
2. 施設概要、入居者の処遇の状況	○前回会議以降、女性1名、男性2名退居され、女性2名入居。
	本日現在28名だが、明日女性1名入居予定。
	○今年の敬老会はコロナウイルス感染対策として規模を縮小し実施しました。
	10月には五泉産帛乙女を使用した芋煮会を行い、ゲームや踊り等でお祭りの雰囲気を感じて頂き大変好評を頂きました。
	また、感染対策をしっかりと行った上で各ユニットでの外出も計画し気分転換を図って頂きました。
3. 入居者の健康管理状況	○10月夜間に救急外来2件対応。
	○10/2 右足褥瘡部より、以前骨折し固定していたプレートが露出。
	99歳と高齢ではあるがプレート除去を行うため入院。10/5手術、10/19退院した。
	○10/4 深夜意識障害発症し救急搬送。広範囲の脳出血にて治療困難。
	そのまま入院となり同日永眠される。
	○10/10 夜間に多量に嘔吐後、呼吸苦出現し救急搬送。肺炎、心不全の診断で入院。
	10/24病院にて永眠される。

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
4. 事故・苦情等の状況	<p>○「打ち身、内出血」については、動作時や介助時の場면을検証するも原因不明がほとんど。内服の関係等もあり内出血がしやすい方が多いため、引き続き予防対策を行っていきたい。</p> <p>○「転倒、転落」については、同人、同事故が3件あり。様々な対策を講じてきたが結果として予防できなかった。認知症重度で視力障害もあり、状況理解が困難なことも原因の一つと考えられる。</p>
5. 活動実績・今後の予定（10月～11月）	<p>○別紙資料参照。</p>
6. その他（意見交換）	<p>○「転倒、転落」について同人、同事故が3件あると報告されたが、状況と対策についてもう少し詳しく教えて頂きたい。</p> <p>→本人の状況等と事故内容について詳しく説明した。また、講じた対策についても説明した。</p> <p>○小学校でもコロナウイルスの影響で感染対策を講じている状況。今後の行事についてもできる範囲内で保護者や地域の方々にも見て頂きたいと思っている。お互いに感染対策を模索しながら繋がりを続けていけると良い。</p> <p>○退去後、どの位で次の方が入居しているのか。</p> <p>→基本的には1週間程度で新規の方の入居をして頂きたいと思っているが、面接をしても現状のユニットでは対応が困難であったり、他の施設へすでに入居していたりとなかなかスムーズに入居ができていない状況にある。</p> <p>○入院状況にある、褥瘡部よりプレートが露出しとあるが、イメージできないため具体的に教えて欲しい。</p> <p>→本人の状態について具体的に説明した。</p> <p style="text-align: right;">（次回：令和3年1月予定）</p>
【 懸 案 事 項 】	